

平成 25 年 1 月 7 日

関係機関 各位

山口県医師会長 小田悦郎

山口県医師会花粉情報システム

スギ花粉飛散初観測について

平素から花粉情報につきまして種々ご高配賜り厚く御礼申し上げます。

1月1日に宇部市の測定点で本年初めてのスギ花粉(0.3個/cm²)を観測しましたのでお知らせいたします。よって、1月1日が山口県における2013年のスギ花粉の初観測日となります。

スギ花粉の飛散が本格的に始まるといえる飛散開始日は、山口県では2月上旬になることが多いですが、気温が高ければ早まることもあります。

この飛散開始日までに1cm²当たり1個以下のごく少量の花粉飛散は続くことがあり、人によっては花粉症の症状が発現します。

初観測日について

その年に初めてスギ花粉飛散が確認された日。

過去の初観測日

平成 24 年	1 月 1 日	柳井市、平生町	0.6 と 0.3 個/cm ²
平成 23 年	1 月 1 日	宇部市	0.3 個/cm ²
平成 22 年	1 月 1 日	岩国市	0.3 個/cm ²
平成 21 年	1 月 6 日	周防大島町、宇部市	0.6 と 0.3 個/cm ²
平成 20 年	1 月 6 日	下関市	0.3 個/cm ²

飛散開始日について

同一測定点で、1月以降にスライドガラスの1cm²内にスギ花粉が1個以上捕集される日が、原則として2日以上続いた最初の日。

過去の飛散開始日

平成 24 年	2 月 22 日	かめやまクリニック、厚生連長門総合病院
平成 23 年	2 月 18 日	厚生連長門総合病院
平成 22 年	2 月 8 日	厚生連長門総合病院
平成 21 年	2 月 4 日	光・熊毛・宇部・下関・美祢・長門地区
平成 20 年	2 月 2 日	山口大学医学部(宇部市) 測定

山口県における2013年のスギ花粉飛散総数の予測と注意事項

前年秋の雄花の着花状況から、最近10年間の平均2,450個/cm²の1.3倍程度となるものと思われる。詳細は当会HPをご覧ください。

今年も花粉飛散のシーズンになりました。外出時はできるだけ帽子やめがね、マスクを着用し、外から帰ったときには衣服や頭髮についた花粉を十分に払いのけ、手洗いや洗顔など露出した部分を洗うように心がけてください。屋内にできるだけ花粉を持ち込まないようにすることが大事です。

提供 **社団法人 山口県医師会**
TEL: 083-922-2510 / FAX: 083-922-2527
URL: <http://www.yamaguchi.med.or.jp>

目的

花粉症の軽減と予防を目的として、山口県医師会が主体となり、医療機関をはじめ山口県学校薬剤師会の協力の下、県民に対し花粉飛散状況や予測情報を提供する。

また、測定器具をダラム型に統一し、各地区の飛散状況の変化も検討しながら、地域に密着した情報を提供できるよう取り組む。

提供期間

毎年1月初旬(スギ花粉初観測日)からその年の4月下旬(ヒノキ科花粉飛散終了)まで。

イネ科花粉については、随時飛散個数を山口県医師会ホームページ上で提供する。

提供団体

山口県医師会花粉情報委員会

提供情報

- 1 初観測日、スギ花粉飛散開始及び飛散終了宣言
- 2 飛散状況
- 3 飛散予測情報

東・中・西・北部の4ブロック

*2、3については、スギ花粉飛散開始日以降(例年2月上旬)に開始する。

*スギ花粉初観測日とは、その年初めてスギ花粉が測定された日。

*スギ花粉飛散開始日とは、同一測定施設で、1月以降にスライドガラスの1平方センチメートル内にスギ花粉が1個以上捕集される日が、原則として2日以上続いた最初の日と定義される。(公益財団法人日本アレルギー協会の定義による)

システム構成

- 1 測定施設
県内23施設(医療機関・薬局・中学校)
- 2 測定方法
ダラム型捕集器を使用。詳細は当会HPの「測定方法」を参照のこと
- 3 測定状況・予測情報集約
山口県医師会事務局で集約
- 4 測定状況の解析、予測情報の作成
山口県医師会花粉情報委員会
- 5 情報提供
関係機関にFAX送信、山口県医師会ホームページ(<http://www.yamaguchi.med.or.jp>)上で公開する。